

・三位一休後第二十五主日

泉のほとり

今日の詩編 第八編

そのあなたが御心に留めてくださるとは

人間は何ものなのでしょう。

人の子は何ものなのでしょう

あなたが願みてくださるとは、



まっすぐにせよ

イザヤは洗礼者ヨハネについて「荒野で叫ぶ者の声がある。主の道を整え、その道筋をまっすぐにする。谷は埋められ、山と丘はみな低くされて、曲がった道もまっすぐに、でこぼこの道も平らになる。人は皆、神の救いを仰ぎ見る」と預言しました。ヨハネは主の道を整え、まっすぐにするために、荒野で「悔い改めよ。神の国が近づいた」と叫び、悔い改めの洗礼を授けていました。多くの民が神の預言者だと思い、ヨハネのところへ来たのです。

ところが、ヨハネは洗礼を受けに来たその「群衆」に向かつて、「娘の子らよ、差し迫った神の怒りを免れると誰が教えたのか」と叫びました。ヨハネの目に群衆は「まっすぐな心」ではなかったのです。彼らはそれぞれ自分自身の中にある罪をまっすぐに見ることなく、洗礼を受けると救われる、罰を免れる、と思っただけからです。

娘の子らよ、と言われた群衆は「私たちはどうしたらよいのでしょうか」と聞きました。悔い改めの洗礼を受けに来た彼らは自分が何を改めるべきか、真剣に考えなかったのでしょうか。特に徴税人には「決められた税金だけを取り立てなさい」と言い、兵士たちには「力で人の物を奪ったり、脅したりせず、自分の給料で満足しなさい」と教えました。人間として当たり前のことすら改めずに荒野へ来たのかと思わされるのです。神の怒りを招いた自分の罪とまっすぐに向き合い、神に近づこうとする者はほとんどいません。しかし、洗礼を受けて、神の怒りから免れ、救われたかのように思っています。よこしまな、曲がった心です。まっすぐに神を求める、神の救い

を求める心ではありません。

洗礼者ヨハネのところに来たユダヤ人の中には「私は悪しき兵士たちや、罪深い徴税人のような者ではない」という心の者たちもいました。それはファリサイ派、律法学者たちです。彼らもヨハネの洗礼を受けに来ていたのです。ヨハネは彼らにも「娘の子らよ」と叫びました。それは彼らに対する神の怒りの声です。後にキリストからも「娘の子ら、偽善者、白く塗った墓」と言われました。外側はきれいだが、内側は強欲、悪意に満ちていたからです。

そういう自分自身に気づかず、徴税人などを「罪人」だと裁いていたのです。ヨハネの働きはそのような人がまっすぐに自分自身を見るように、そして悔い改めに、神の救いを求める心に導くものでした。

人には自分の目に隠されて見えない自分が多すぎます。まっすぐに見るべき自分自身を人は見ようとしていないからです。キリストは人を罪から救うために来てくださったのです。誰一人、自分自身を罪から救うことのできる人はいません。ただ人に求められているのは「まっすぐに自分自身を見る」ことです。ヨハネのところに来ていた群衆、兵士たち、徴税人、またファリサイ派、律法学者たちのように、曲がった心であつてはなりません。救いに与るためには、まっすぐではない、神の怒りから免れることのできない自分自身を「まっすぐに」見る心が必要不可欠です。その者は、整えられた道へまっすぐに近づいてきてくださる主に出会うでしょう。

十字架を前にして

貧しく、名もなく、侮辱されたイエスよ、

わたしたちを憐れみ、

あなたに従うことを

恥とすることがないようにしてください。

告発され、不当に裁かれたイエスよ、

忍耐強く侮辱に耐えることを教え、

わたしたちが自分の栄光を

求めることがないようにしてください。

茨の冠をかぶせられ、

あざけられたイエスよ、

愚弄され、傷と悲しみとさげすみを

こうむられたイエスよ、

呪いの木につるされ、こうべを垂れ、

みずからの霊をゆだねたイエスよ、

わたしたちを憐れみ、

わたしたちの全生涯をく

あなたの霊に従うものとしてください。

平野寛巳著 「祈りのともしび」より

ジョン・ウエスレーの祈り

今日のお知らせ

○今日は第一・第二礼拝とも、教会記念日礼拝です。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーマービスと、園舎二階リズム室では、礼拝で受けた恵みを分かち合う「ぶどうの会」が開かれます。また一〇時三十分から、幼稚園舎二階のひまわりのお部屋で、紫園香音楽伝道師の指導による賛美と祈りの会が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讚美と報告の後、教会記念日を祝う会をします。

○その後、愛餐会をします。今日のメニューは、さつまいもご飯、鶏肉の甘酢ソテー、グリーンサラダ、味噌汁、たくわん、みかん、です。会費四百円でどなたでも参加できます。

○午後二時から、一月の定例役員会をカンルームで行います。

○明日・九日（月）午前一〇時半から午後四時まで、東京説教塾の例会がホールで行われます。池恵鮮姉をはじめ有志の方々が昼食の奉仕をしてください。

○二二日（木）午前一〇時半から一二時まで、シオンの会を牧師室で行います。「雷ノ下カテキズム」の間五く七を学びます。新しい方の参加を歓迎します。

○第一礼拝後一〇時三十分から、幼稚園舎二階のひまわりのお部屋で紫園香音楽伝道師の指導による賛美と祈りの会が開かれます。どうぞご参加ください。

○二二日（日）に、前日に作った手作りクルミ入りケーキの販売をします。注文表がロビーに掲示してありますので、ご希望の方はお名前と個数を記入して下さい。一人、ホール三ヶまでです。お値段は、ホール一六〇〇円、ハーフ八〇〇円です。

四国だより

今朝はキュートなひつじ雲が青空いっぱい広がっておりました。秋風のそよぎを感じつつ九日の牧会報告をお送り致します。

最近の牧会では主の明確なお示しにより、私達一同が全ての動機を聖別され「キリストの花嫁として」の備えにむけて御聖霊のお導きを喜び信頼して生きる方向へと背中を押して下さいている事がつきりと感じられ、皆が主の御前にひざまずいております。

毎年五月には滋賀県の教会の聖会に招かれて御言葉をお伝えしております。奇跡の様な出来事は、何とその教会の本棚にあった一冊の本から始まったのです。その日の説教が終り、「こちらの部屋でしばらくご休息下さい」と英因調の素敵なお部屋で趣のあるティータムをご用意して下さいました。本棚にふと目を移すと、そこには神学生時代に何度も耳にした有名なT先生の御本があり、その最後のページには他の御著書の紹介が載っております。その題名は「ヨシユアの如く生きん」。それが、それは私にとって聖い天的な衝撃でありました。常々思っておりましたのは、天国に帰らせていただいたときは父なる神様、救い主イエス様として御聖霊に賛美と感謝で御挨拶申し上げた後には聖書の中に登場する人間の中では、一番おめ

にかかりたいのがヨシユア記に記録されているヨシユア先生なのです。主なる神さまへの聖なる従順と聖別された信仰のうるわしいお姿に隠された御忍耐の深さと謙遜なる洞察力と愛、その全ての生涯に注がれた主なる神さまの祝福、多くを学びばされ慰められ励まされ、どれほど薫陶をいただいた事ででしょうか。この御本を知る為には今ここに居るのだという確信が与えられました。そして主はこの確信を奇跡的な現実へと導いて下さったのです。

四国に帰ってから数ヶ月が過ぎ、私はあの御本の注文先である教会に電話したら事務の人が「信徒の方でしょうか？教職にある方ですか？」と一つの質問をされ「私は四国で小さな開拓の教会で牧会をしております」とすると「ちよつとお待ち下さい。今、T先生と変わりますので」急な事に私は驚き「どうぞおかまひなく、先生はお忙しいと思いますので、私はただ本の注文だけでお電話をしているだけです。」すると、「実は今先生がここにおられますのでちよつとお待ち下さい」との事。困惑すること四秒位でT先生が電話口に出られびつくり致しました。

次号につづく

聖書の会へどうぞ

11月21日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

「見えないものが見える時」

マタイ17章1〜13節

吉村和雄 牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「多くの苦しみを経なくては」

使徒14章21〜28節

黄允浚 副牧師

次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃2117番 461番

説教 「罪人のひとりになられた神」

聖書 ルカ23章32〜43節

説教者 菊池美穂子 副牧師

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 12番 258番

詩篇 8篇

説教 「神の民の誇りを捨てて」

聖書 ローマ2章12〜16節

説教者 吉村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 17番
461番

説教 「わたしはある、という名の神」

聖書 出エジプト3章1節～15節(旧約 P96)

司式 森洋之 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「アレグロモデラート」 J.ハイドン

○讃21-17番

1. 聖なる主の美しさと その栄えを 仰いで
まごころもて み前に立ち
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって
負ってくださる うれしき
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に仕えよう とるに足らぬ私の
愛のわざも 身も心も
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 貴さ
望みは湧き おそれは消え
胸に満ちる よろこび アーメン

○教会学校生徒による賛美

「どんなにちいさいことりでも」 讃美歌21-60番

○フルートによる讃美

「ソナタ BWV526 W.&G.キルヒナー編ホ短調」
J.S.バッハ

○讃美歌461番

1. 主われを愛す 主は癒ければ
われ弱くとも 恐れはあらず
※ わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われをあいす
2. わが罪のため さかえをすてて
笑よりくんだり 十字架につけり
3. みくにの門を ひらきてわれを
招きたまえり いさみてのぼらん
4. わが君イエスよ われをきよめて
よきはたらきを なさしめたまえ アーメン

聖餐曲「シャコンヌBWV1004 ニ短調」 J.S.バッハ

後奏曲「アレグロ・マエストーゾ」 G.F.ヘンデル

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 196番 238番

詩篇 第8編(旧約 P840)

説教 「天の国が近づいた」

聖書 マタイ10章1節～15節(新約 P17)

司式 森洋之 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允湜 副牧師

前奏曲「いと高きにある神にのみ栄光あれ」 J.S.バッハ

○讃美歌 196番

○フルートによる讃美

「ソナタ BWV526 W.&G.キルヒナー編ホ短調」
J.S.バッハ

○聖歌隊による讃美

「主に感謝せよ」 G.F.ヘンデル

感謝せよ わが主に

主は海を分かちて 御民を導く

主は我がひつじかい 御手もて

つねに優しく 導きたもう

感謝せよ わが主に

主は海を分かちて 安らに導く

導きたまえ とこしえに

○讃美歌 238番

聖餐曲「シャコンヌBWV1004 ニ短調」 J.S.バッハ

後奏曲「アレグロ・マエストーゾ」 G.F.ヘンデル